

## 情報公開文書

当科では京都大学大学院医学研究科循環器内科が実施する下記の研究に参加しています。

研究課題名：

大動脈弁狭窄症患者に対する治療法選択とその予後を検討する多施設後ろ向きコホート研究

研究の目的：

高度大動脈弁狭窄症（左心室と大動脈の間にある大動脈弁が十分に開かなくなる病気）と診断された患者さんの症状と治療、その後の経過を評価し、日本人の大動脈弁狭窄症に対する至適な治療方針を探索することを目的としています。

研究の方法：

2003年1月から2011年12月に心臓超音波検査を施行され、高度大動脈弁狭窄症と診断された患者さんの診療録と治療経過データを、患者さんの個人情報をも特定できないようにした上で解析します。本研究は、市立島田市民病院倫理委員会並びに京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

研究成果発表：

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

・ Prognostic Impact of Aortic Valve Area in Conservatively Managed Patients With Asymptomatic Severe Aortic Stenosis With Preserved Ejection Fraction. J Am Heart Assoc. 2019 Feb 5;8(3):e010198.

・ Asymptomatic versus Symptomatic Patients with Severe Aortic Stenosis. Sci Rep. 2018 Jul 4;8(1):10080.

・ Initial Surgical Versus Conservative Strategies in Patients With Asymptomatic Severe Aortic Stenosis. J Am Coll Cardiol. 2015 Dec 29;66(25):2827-2838.

問合せ先：

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、主治医までご連絡ください。

実施責任者：

副院長 循環器内科主任部長 青山 武

研究事務局：

京都大学大学院 医学研究科 循環器内科 木村 剛